



管理ソフトウェアの FAQ

この章では、Cisco DCNM-SAN および Device Manager に関する主な FAQ について回答します。この章は、次の内容で構成されています。

- 「インストールの問題」 (P.11-3)
 - 「Windows から Cisco DCNM-SAN をインストールするときに、インストールをクリックできません」 (P.11-3)
 - 「Solaris で Cisco DCNM-SAN を起動できません」 (P.11-3)
 - 「ブラウザ上に JNLP ファイルの保存を促すプロンプトが表示されます」 (P.11-4)
 - 「[Java Web Start not detected] エラーが表示されます」 (P.11-4)
 - 「Cisco DCNM-SAN または Device Manager を新しいバージョンにアップグレードする方法を教えてください」 (P.11-4)
 - 「Cisco DCNM-SAN または Device Manager をダウングレードする方法を教えてください」 (P.11-4)
 - 「アップグレードできません」 (P.11-5)
 - 「ダウンロードダイアログで Java Web Start が停止します」 (P.11-5)
 - 「Java Web Start を手動で設定する方法を教えてください」 (P.11-5)
 - 「Java Web Start をコマンドラインから実行する方法を教えてください」 (P.11-6)
 - 「Java Web Start のキャッシュをクリアする方法を教えてください」 (P.11-6)
 - 「Cisco DCNM-SAN または Device Manager にログインできません」 (P.11-6)
 - 「pcAnywhere の実行中に Cisco DCNM-SAN または Device Manager をインストールできません。または Java を実行できません」 (P.11-7)
 - 「[Services] メニューで、Cisco DCNM-SAN または Performance Manager サービスが [disabled] と表示されます」 (P.11-7)
 - 「McAfee Internet Suite 6.0 Professional の実行中に Cisco DCNM-SAN または Device Manager をインストールできません。または Java を実行できません」 (P.11-7)
- 「全般」 (P.11-7)
 - 「面グラフのモニタ中にエラーが表示されます。」 (P.11-7)
 - 「[gen error] メッセージが表示されます。」 (P.11-7)
 - 「Device Manager Summary View にディスク イメージが表示されません」 (P.11-8)
 - 「Device Manager に D_S_TOV および E_D_TOV タイマーを同時に設定できません」 (P.11-8)
 - 「Device Manager テーブルのカラムを大きくする方法を教えてください」 (P.11-8)

- 「ファブリックの変更がマップに伝播されません（リンクが消えないなど）」 (P.11-8)
- 「PortChannel の作成ダイアログボックスを何度か使用したら小さくなってしまいました」 (P.11-8)
- 「IPFC を設定するとエラーが表示されます」 (P.11-8)
- 「Cisco DCNM-SAN または Device Manager で正しいネットワーク インターフェイスが使用されません」 (P.11-9)
- 「Cisco DCNM-SAN または Device Manager の画面が正常に表示されません」 (P.11-9)
- 「編集ゾーン内のアクティブ ゾーン セットが（正しくアクティブ化した場合でも）太字で表示されます」 (P.11-9)
- 「プレフィックスが IVRZ のゾーンまたは nozonset という名前のゾーン セットを作成できますか」 (P.11-10)
- 「ワンクリック ライセンス インストールが実行されず、シスコの Web サイトにもアクセスできません」 (P.11-10)
- 「Cisco DCNM-SAN クライアントでログ ウィンドウのサイズを拡大する方法を教えてください」 (P.11-10)
- 「Cisco DCNM-SAN クライアントでログ ウィンドウのサイズを拡大する方法を教えてください」 (P.11-10)
- 「FM Server Database が起動できません。またはファイル ロック エラーが発生します」 (P.11-10)
- 「Windows の問題」 (P.11-11)
 - 「表示されたテキスト フィールドが小さすぎてデータを入力できません」 (P.11-11)
 - 「印刷するとアプリケーションがクラッシュします」 (P.11-11)
 - 「Windows XP が停止しました（ブルー画面になりました）」 (P.11-11)
 - 「Cisco DCNM-SAN および Device Manager のアイコンが表示されません」 (P.11-11)
 - 「Windows XP で Device Manager または Cisco DCNM-SAN ウィンドウの内容が表示されません」 (P.11-12)
 - 「ファイルをローカル マシンからスイッチにコピーすると SCP/SFTP にエラーが発生します」 (P.11-12)
- 「UNIX の問題」 (P.11-12)
 - 「親メニューが表示されません」 (P.11-12)
 - 「Web サーバは稼働しているのにブラウザで検出できません」 (P.11-12)
 - 「[too many open files] エラーへの対処方法を教えてください」 (P.11-12)
- 「その他」 (P.11-13)
 - 「Cisco DCNM-SAN の再起動後もマップ レイアウトを保持する方法を教えてください」 (P.11-13)
 - 「スイッチは 1 台しかないのにマップには 2 つ表示されます」 (P.11-13)
 - 「スイッチ内のレッド/オレンジ/点線の意味を教えてください。」 (P.11-14)
 - 「マップ設定を保持したままアップグレードする方法を教えてください」 (P.11-19)
 - 「Cisco DCNM-SAN サーバを新規ホストに移行するときに履歴データを保持する方法を教えてください」 (P.11-20)
 - 「FCIP 上で Cisco DCNM-SAN を使用するときの制限はありますか」 (P.11-20)

- 「[Please insure that FM server is running on localhost] メッセージへの対処法を教えてください」 (P.11-20)
- 「複数のインターフェイスを使用して Cisco DCNM-SAN を実行する方法を教えてください」 (P.11-21)
- 「HTTP プロキシ サーバの設定方法を教えてください」 (P.11-22)
- 「トポロジ マップをクリアする方法を教えてください」 (P.11-23)
- 「ソフトウェアの混在環境で Cisco DCNM-SAN を使用する方法を教えてください」 (P.11-23)
- 「Cisco DCNM-SAN 起動時に「corrupted jar file」エラーが表示されます。対処方法を教えてください」 (P.11-23)
- 「ファブリック内のデバイスの検索方法を教えてください」 (P.11-24)
- 「複数のファブリックの管理方法を教えてください」 (P.11-25)
- 「ライセンス期限が切れるとスイッチに表示されるオレンジの X をクリアする方法を教えてください」 (P.11-25)

インストールの問題

Windows から Cisco DCNM-SAN をインストールするときに、インストールをクリックできません

Java Web Start が正しくインストールされていることを確認してください。確認する手順は、次のとおりです。

-
- | | |
|---------------|---|
| ステップ 1 | [Programs] メニューを開き、Java Web Start が表示されているかどうかを確認します。 |
| ステップ 2 | Java Web Start プログラムを起動して、Java Runtime のインストールに問題がないか確認します。 |
| ステップ 3 | [Preferences] タブをクリックし、Web Start のプロキシ設定が適切かどうかを確認します。 |
| ステップ 4 | JNLP 設定を適切に処理するようにブラウザが設定されているか確認します（「 Java Web Start を手動で設定する方法を教えてください 」 (P.11-5) を参照）。 |
-

旧バージョンのアプリケーションを実行し、(エラーの詳細に) JNLP ファイルを開くことができないことを示すエラー ポップアップ ウィンドウが表示された場合、Java Web Start のキャッシュが破損している可能性があります。この問題を解決するには、キャッシュをクリアして、再試行してください。キャッシュをクリアする手順については、「[Java Web Start のキャッシュをクリアする方法を教えてください](#)」 (P.11-6) を参照してください。

Solaris で Cisco DCNM-SAN を起動できません

Solaris 2.8 を使用し、ルートとしてログインしているユーザが、Netscape Navigator 6 を使用している場合は、MIME タイプを登録できません。正規ユーザが Netscape Navigator 6 に MIME タイプを登録するには、手動で追加する必要があります。Netscape 4.x は、すべてのユーザに対して適切に機能しません。

ブラウザ上に JNLP ファイルの保存を促すプロンプトが表示されます

JNLP MIME タイプに対応した Java Web Start を起動するようにブラウザが設定されていない可能性があります。Java Web Start が適切にインストールされていないか、適切に設定されていません（「[Java Web Start を手動で設定する方法を教えてください](#)」(P.11-5) を参照）。

[Java Web Start not detected] エラーが表示されます

Java Web Start をインストールしたにもかかわらず、スイッチのホーム ページに「Java Web Start not detected...」というエラー メッセージが（赤色で）表示される場合は、単純な JavaScript エラーの可能性がります。Java Web Start インストールを検出するために、Internet Explorer および Mozilla（新しいバージョン）でテストされた JavaScript コードが実行されています。一部のブラウザ（Netscape 6.0 や Opera など）では、リンクが機能していても、このコードが正しく機能しないことがあります。

- まず、インストール リンクをクリックしてください。
- リンクが機能しない場合は、ブラウザのヘルパー アプリケーションが正しく設定されているかどうかを確認してください（Netscape 6.0 の場合は [Edit] > [Preferences] > [Navigator] > [Helper Applications] をクリックします）。「[Java Web Start を手動で設定する方法を教えてください](#)」(P.11-5) を参照してください。

Cisco DCNM-SAN または Device Manager を新しいバージョンにアップグレードする方法を教えてください

Cisco DCNM-SAN または Device Manager を新しいバージョンにアップグレードする手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** 実行中のすべての Cisco DCNM-SAN または Device Manager のインスタンスを終了します。
- ステップ 2** 新規バージョンが稼動しているスイッチをブラウザで指定して、該当するインストール リンクをクリックします。このスイッチで新規バージョンが稼動している場合は、Cisco DCNM-SAN または Device Manager よりアップグレードを求めるプロンプトが表示されます。
- インストーラがローカル コピーを調べて、新しいソフトウェア バージョンに更新します。
-

Cisco DCNM-SAN または Device Manager をダウングレードする方法を教えてください

Cisco MDS NX-OS Release 4.xCisco MDS 以降、インストーラでは、ダウングレードをサポートしません。Cisco DCNM-SAN または Device Manager を旧リリースにダウングレードするには、手動でアンインストールしてから、前のバージョンの Cisco DCNM-SAN または Device Manager をインストールする必要があります。

アップグレードできません

Cisco DCNM-SAN または Device Manager で、スイッチのバージョンの方が高いことを示すプロンプトが表示されたために、アップグレードを試みて失敗した場合は、デフォルト ブラウザ設定が正しくない可能性があります。最後のブラウザのアップグレードまたはインストール中に、何らかのエラーが発生しています。対処するには、ブラウザを単独で起動して、インストールをクリックします。

まれに、アップグレードしてもバージョンが変化しないことがあります。これは、HTTP がネットワークにキャッシュされているためです。アップグレード中に、スイッチのファイルに対する HTTP 要求がローカル マシンにキャッシュされます。スイッチのバージョンの方が高い場合でも、インストールされた管理ソフトウェアは古いバージョンのままです。対処するには、Fabric/Device Manager をアンインストールして、Java Web Start キャッシュをクリアしてから、新規にインストールします。

ダウンロード ダイアログで Java Web Start が停止します

ブラウザの設定と同様に Java Web Start がスイッチにアクセスするように設定されているかどうかを確認する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Java Web Start を起動します (**javaws.exe** または **javaws**)。Java Web Start Application Manager が表示されます。
 - ステップ 2** [File] > [Preferences] > [General] を選択し、プロキシが正しく設定されていることを確認します。たとえば、HTTP プロキシを使用している場合、ここで設定します。
 - ステップ 3** [Use Browser] を選択します。
 - ステップ 4** [OK] をクリックします。
-

Java Web Start を手動で設定する方法を教えてください

Opera、特定のバージョンの Mozilla、または Konqueror などのブラウザでは、JNLP ファイルのヘルパー アプリケーションとして Java Web Start を手動で登録する必要があります。このために必要なデータは、次のとおりです。

- 記述 = Java Web Start
- ファイル拡張子 = jnlp
- MIME タイプ = application/x-java-jnlp-file
- アプリケーション = javaws のパス (/usr/local/javaws/javaws など)

この設定の完了後、ブラウザを再起動する必要があります。[Java Web Start not detected] という警告が表示されても、無視してかまいません。これらの警告は JavaScript に基づいています。すべてのブラウザが JavaScript と適切に連携するわけではありません。インストール リンクをクリックして、Cisco DCNM-SAN または Device Manager をインストールしてください。



-
- (注)** Windows ユーザの場合、*.jnlp ファイルに Java Web Start を設定するには、[Windows Explorer] > [Tools] > [Folder Options] > [File Types] を選択します。javaws.exe によって *.jnlp ファイルが開かれるように、JNLP の既存設定を変更するか、または設定を追加します。この実行ファイルは Program Files\Java Web Start 内にあります。
-

Java Web Start をコマンドラインから実行する方法を教えてください

ブラウザから Java Web Start を実行できない場合でも、コマンドラインから Java Web Start (javaws.exe または javaws) を実行できます。そのためには、スイッチ上の Cisco DCNM-SAN または Device Manager の URL を引数として指定します。たとえば、スイッチの IP アドレスが 10.0.0.1 である場合は、次のコマンドを使用して、Cisco DCNM-SAN および Device Manager を起動します。

```
javaws http://10.0.0.1/cgi-bin/fabric-manager.jnlp
javaws http://10.0.0.1/cgi-bin/element-manager.jnlp
```

Java Web Start のキャッシュをクリアする方法を教えてください

Java Web Start のキャッシュをクリアする手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Java Web Start Application Manager (**javaws.exe** または **javaws**) を起動します。
 - ステップ 2** [File] > [Preferences] > [Advanced] を選択し、アプリケーションフォルダまたはキャッシュをクリアします。javaws またはキャッシュ ディレクトリは手動で削除できます。Windows の場合、このディレクトリは [Documents and Settings] 内にあります。UNIX の場合は、\$HOME 内にあります。
-

Cisco DCNM-SAN のアップグレード中、ショートカットを作成するプロンプトが表示されません

この章の「Java Web Start のキャッシュをクリアする方法を教えてください」の手順に従って Java Web Start のキャッシュをクリアします。

Cisco DCNM-SAN または Device Manager にログインできません

スイッチ上で初期設定ルーチンが実行されているかどうかを確認します。

簡単に確認する手順は、次のとおりです。

- スwitchの管理インターフェイスが起動しているかどうかを確認します (**show interface mgmt0**)。
- 管理インターフェイスに接続できるかどうかを調べます (**ping**)。
- ユーザ名が有効かどうかを確認します (**show snmp user**)。CLI (コマンドライン インターフェイス) からユーザを追加/編集することもできます。
- ネットワーク インターフェイスが複数存在する場合は、「Cisco DCNM-SAN または Device Manager で正しいネットワーク インターフェイスが使用されません」(P.11-9) を参照してください。

pcAnywhere の実行中に Cisco DCNM-SAN または Device Manager をインストールできません。または Java を実行できません

pcAnywhere サービスを停止して Cisco DCNM-SAN または Device Manager をインストールするか、または DirectX をインストール/更新してください。詳細については、www.oracle.com の Web サイトを参照してください。

[Services] メニューで、Cisco DCNM-SAN または Performance Manager サービスが [disabled] と表示されます

この状況は、次の場合に発生することがあります。

- アンインストール/アップグレード中に、Cisco DCNM-SAN または Performance Manager の [Services] メニューが開いていた場合。
- アンインストール/アップグレード中に、Cisco DCNM-SAN クライアントまたは Device Manager を実行していた場合。

このエラーは、Windows がサービスを完全に削除できない場合に発生します。ホストを再起動すると、問題が解決されます。

McAfee Internet Suite 6.0 Professional の実行中に Cisco DCNM-SAN または Device Manager をインストールできません。または Java を実行できません

McAfee Internet Suite にはウイルス スキャナ、ファイアウォール、アンチスパム、およびプライバシー管理機能が搭載されています。プライバシー管理は、Cisco DCNM-SAN のサーバとクライアントの対話に干渉する可能性があります。対処するには、プライバシー サービスを停止する必要があります。

全般

面グラフのモニタ中にエラーが表示されます。

モニタ ウィンドウから面グラフを表示する場合、最初のデータが戻される前に面グラフ上でマウスを移動すると、JChart getX() からのメッセージログに、java.lang.ArrayIndexOutOfBoundsException エラーが表示されます。これは、JChart がまだ存在しない値の検索を試みたことが原因です。この問題は、今後の JChart バージョンで修正される予定です。

[gen error] メッセージが表示されます。

通常、[gen error] は、SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) 要求の処理プロセスで、スイッチの SNMP エージェントに予期せぬエラーが発生したことを意味します。ただし、Virtual Private Network (VPN; バーチャルプライベート ネットワーク) 接続または任意の種類の Network Address Translation (NAT; ネットワーク アドレス変換) 方式を介してスイッチにアクセスしている場合は、すべてのエ

ラーが [gen error] として報告されます。これは既知の問題であり、今後のリリースで修正される予定です。これが [gen error] の原因であるかどうかを調べるには、NAT が設定されていない環境でこのエラーを再生成します（スイッチと同じネットワークで作業します）。

Device Manager Summary View にディスク イメージが表示されません

Device Manager の Summary View テーブルに、Fx ポートに接続されたディスクのアイコンが表示されないことがあります。これは、このポートに FC4 機能が設定されていないためです。LUN 検出を発生して、FC4 タイプが登録されていないホスト/ディスクに関する情報を検出する必要があります。Device Manager で、[FC] > [Advanced] > [LUNs] をクリックしてください。

Device Manager に D_S_TOV および E_D_TOV タイマーを同時に設定できません

E_D_TOV と D_S_TOV を両方同時に変更した場合、新しい D_S_TOV 値が古い E_D_TOV 値よりも大きいと、WrongValue エラーが表示されます。対処するには、これらの値を個別に変更する必要があります。

Device Manager テーブルのカラムを大きくする方法を教えてください

Device Manager が大型テーブルの表示を試みたとき、スイッチの実行が遅いと、テーブルが表示されたときにタブが非表示になります。対処するには、データが表示されるようにウィンドウのサイズを変更する必要があります。

ファブリックの変更がマップに伝播されません（リンクが消えないなど）

Cisco DCNM-SAN では、ダウンしているデバイスまたはポート上にレッドの十字が表示されます。ただし、Cisco DCNM-SAN はすでに検出されている情報を削除しません。マップを正しく更新するには、再検出する必要があります。

PortChannel の作成ダイアログボックスを何度か使用したら小さくなってしまいました

MemberList TextBox (PortChannel の [Create] ウィンドウ内) を何度か使用すると、正しく表示されなくなります。ポート選択用のコンボ ボックスが付いた長いテキスト ボックスが、小さな正方形のテキスト ボックスに変わり、小さすぎてポートを選択できなくなります。これは既知の問題であり、今後のリリースで修正される予定です。この問題に対処するには、Cisco DCNM-SAN または Device Manager を停止して再起動します。

IPFC を設定するとエラーが表示されます

IPFC および帯域外管理が設定されていると、IPFC アドレスを使用した場合に、Device Manager と SNMPv3 が正しく動作しなくなることがあります。対処するには、管理インターフェイス (mgmt0) アドレスを使用するか、または IPFC 上で SNMPv1/v2c を使用します。

Cisco DCNM-SAN または Device Manager で正しいネットワーク インターフェイスが使用されません

この問題の原因は、ローカル インターフェイスが基本的な Java ライブラリによって任意に選択されることです。対処するには、コマンドライン引数を指定してから、Fabric/Device Manager を起動します。デスクトップ ショートカットまたはシェルスクリプト、あるいはバッチ ファイルにパラメータ「-Device Managerds.nmsAddress=」を追加します。

たとえば、Windows では、「javaw.exe -Device Managerds.nmsAddress=X.X.X.X -cp .」という行になります。

デスクトップ ショートカットでは、この長さが許容されている最大文字数を超える可能性があります。その場合は、-Dsun.java2d.ddoffscreen=false の部分を削除して、必要な文字数を確保します。リリース 1.2 以降では、優先するネットワーク インターフェイスを選択できます。

Cisco DCNM-SAN または Device Manager の画面が正常に表示されません

Cisco DCNM-SAN または Device Manager のサブメニューがメニューから切り離されて表示されたり、Cisco DCNM-SAN マップでマウスの動きに対するマウス ポインタの反応が遅くなったり、誤ったツールチップが表示されたりする場合、これらは、Cisco DCNM-SAN または Device Manager の問題ではなく、画面の異常です。

一部の古いビデオ カードでは、こうした画面の異常が発生する場合があります。この問題を解決するには、まずビデオ ドライバを更新します。それでも問題が解決しない場合は、ビデオ カードを交換します。

[Physical Attributes] カテゴリがほとんど表示されなくなりました

拡張機能がオフになっています。Cisco DCNM-SAN 画面の右上にある [Advanced Features] チェック ボックスを確認してください。チェック ボックスをオンにします。

[Information] ペインが表示されません

通常、[Information] ペインは Cisco DCNM-SAN のマップの上半分に表示されます。マップが重なっている可能性があります。マップ ウィンドウの端を下方向にドラッグするか、黒の三角をクリックして画面を再表示します。

編集ゾーン内のアクティブ ゾーン セットが（正しくアクティブ化した場合でも）太字で表示されます

VSAN のメンバーが IVR ゾーニングに参加しています。アクティブ ゾーンに IVR ゾーンが追加されたため、アクティブ ゾーン セットの設定が同名のローカル ゾーン セットの設定と異なります。この場合、ゾーン セット名が常に太字になります。

プレフィクスが IVRZ のゾーンまたは nozonset という名前のゾーン セットを作成できますか

これらの特殊な名前は使用しないでください。これらの名前は、IVR ゾーンを識別するためにシステムで使用されます。

ワンクリック ライセンス インストールが実行されず、シスコの Web サイトにもアクセスできません

ワンクリック ライセンス インストールでは、シスコ Web サイトへの HTTP 接続を開こうとします。ブラウザで HTTP プロキシを使用している場合には、Cisco DCNM-SAN クライアントのスクリプトに次のコマンドライン変数を追加する必要があります。

```
-Dhttps.proxyHost and -Dhttps.proxyPort.
```

ワンクリック インストールの URL が「https://」ではなく「http://」から開始する場合、変数は次のようになります。

```
-Dhttp.proxyHost and -Dhttp.proxyPort.
```

たとえば、Windows の場合、MDS 9000\bin\FabricManager.bat ファイルを編集し、JVMARGS に「-Dhttps.proxyHost=HOSTADDRESS -Dhttps.proxyPort=HOSTPORT」を追加します。

Cisco DCNM-SAN クライアントでログ ウィンドウのサイズを拡大する方法を教えてください

FM Client によるメモリ消費を制限するために、ログ ウィンドウはデフォルトで 500 行に制限されています。このサイズを拡大するには、<install directory>/db/<user> ディレクトリの sm.properties を編集し、LogBufferSize を変更します。

FM Server Database が起動できません。またはファイル ロック エラーが発生します

データベース ログ (FMPersist.log) に [The database is already in use by another process] というエラーメッセージが表示されます。Hsqldb 1.7.1 バージョンにこの問題があります。ファイル ロックはたまに発生しますが、db サーバをシャットダウンして再起動すると解決できます。Windows の場合は FMPersist サービスを停止して起動します。Unix の場合は FMPersist.sh スクリプトの引数を restart にして実行します。

Cisco DCNM-SAN クライアントと Cisco DCNM-SAN サーバを再同期化する方法を教えてください

Cisco DCNM-SAN クライアントが Cisco DCNM-SAN サーバと同期していない場合、クライアントとサーバの再同期化が必要になる場合があります。Fabric Manager Client を Cisco DCNM-SAN サーバと再同期化するには、[File] メニューで [Resync All Open Fabrics] をクリックします。

現在のファブリックを再検出する方法を教えてください

Cisco DCNM-SAN サーバがファブリックのスイッチと非同期の場合、オンデマンド検出を実行してファブリックのスイッチの変更を Cisco DCNM-SAN クライアントで最新の状態にする必要があります。ファブリック スイッチを再検出するには、[File] メニューから [Rediscover] をクリックします。

SCSI ターゲットを再検出する方法を教えてください

Cisco DCNM-SAN サーバがファブリックの SCSI ターゲット スイッチと非同期の場合、オンデマンド検出を実行してファブリックの SCSI ターゲット スイッチの変更を Cisco DCNM-SAN クライアントで最新の状態にする必要があります。ファブリック スイッチを再検出するには、[File] メニューから [Rediscover SCSI Targets] をクリックします。

Windows の問題

表示されたテキスト フィールドが小さすぎてデータを入力できません

Reflection X を実行している場合、Cisco DCNM-SAN および Device Manager の特定のテキスト フィールドが完全な幅で表示されません。フィールドを適切に表示できるように、ダイアログボックスのサイズを変更してください。

印刷するとアプリケーションがクラッシュします

Windows NT には、既知の Sun JVM バグがあります (印刷サービスを実行すると VM がクラッシュします)。Sun が提案するソリューションは、NT を SP 6 に更新することです。詳細については、次の URL を参照してください。

<http://developer.java.sun.com/developer/bugParade/bugs/4530428.html>

Windows XP が停止しました (ブルー画面になりました)

Windows XP と ATI Radeon AGP グラフィック カードを併用している場合、Java アプリケーションを終了すると、フリーズ (停止) します。ATI の新しいドライバを使用すると、この問題が解決されるようです。その他の対応策は、「-Dsun.java2d.noddraw=true」を指定してアプリケーションを実行することです。ショートカットおよびシェルスクリプトの作成時に、現在この方法が使用されています。詳細については、次の URL を参照してください。

<http://developer.java.sun.com/developer/bugParade/bugs/4713003.html>

Cisco DCNM-SAN および Device Manager のアイコンが表示されません

Windows のバージョンによっては、特定のイメージが表示されません。これは Java のバグです。対策 (DirectDraw アクセラレーションのディセーブル化) を講じていますが、それでもこの問題が発生する場合があります。詳細については、次の URL を参照してください。

<http://developer.java.sun.com/developer/bugParade/bugs/4664818.html>

Windows XP で Device Manager または Cisco DCNM-SAN ウィンドウの内容が表示されません

Windows XP で Device Manager または Cisco DCNM-SAN のメイン ウィンドウの内容が表示されないのは、Java のバグが原因です。次の Web サイトを参照してください。

http://bugs.sun.com/bugdatabase/view_bug.do?bug_id=4919780

ウィンドウの内容を復元するには、ウィンドウを最小化または最大化してから標準サイズに戻します。<FM-install-dir>/bin/FabricManager.bat および DeviceManager.bat の JVMARGS に「-Dsun.java2d.noddraw=true」を追加し、Direct Draw をディセーブルにしても、この問題を防ぐことができます。

ファイルをローカル マシンからスイッチにコピーすると SCP/SFTP にエラーが発生します

ファイルパスにスペースが含まれていると、Windows の SCP/SFTP にエラーが発生します。スイッチから copyDeviceBusy エラーが返されます。License Wizard などのツールでは、tftp コピーが実行可能であることを確認するか、またはスペースを含まないファイル名を選択します。

UNIX の問題

親メニューが表示されません

サブメニューを表示すると、親メニューが表示されなくなることがあります。このバグの詳細については、次の URL を参照してください。

<http://developer.java.sun.com/developer/bugParade/bugs/4470374.html>

Web サーバは稼働しているのにブラウザで検出できません

ブラウザでプロキシサーバを使用しているときに発生します。ブラウザでプロキシサーバを使用しているかどうかを確認するには、Internet Explorer の場合は、メニューから [Tools] を選択し、[Internet Options]、[Connection] サブパネルの順に指定して [Lan Setting] をクリックします。ダイアログボックスが表示されます。プロキシの設定を確認します。

[too many open files] エラーへの対処方法を教えてください

Linux で Java Virtual Machine (JVM) が稼働していて、Java がインストールされたドライブまたはホームディレクトリが NFS マウントの場合、ファイルロックの取得エラーに関する Sun JDK の既知のバグがあります。Cisco DCNM-SAN の症状として、Device Manager の起動またはファイルの保存/オープンに失敗し、「too many open files」という I/O またはソケット例外が表示されます。JVM は常に NFS マウントドライブ上のファイルを開こうとして、失敗し、1024 のファイル記述子制限に達するまで試行し続けます。対応策は次のとおりです (/tmp はローカルディスクです。実際の tmp 領域と置き換えてください)。

- システム設定

ローカル ディスクに、システム レベル設定が格納されていることを確認します。システム設定は \$JAVA_HOME/.systemPrefs に格納されています (JAVA_HOME は JDK のインストール先)。このディレクトリが NFS マウントである場合は、次のコマンドを実行します。

```
$ rm -rf $JAVA_HOME/.systemPrefs<
$ mkdir /tmp/.systemPrefs
$ ln -s /tmp/.systemPrefs $JAVA_HOME/.systemPrefs
```

この対応策の問題点は、\$JAVA_HOME を使用しているボックスごとに、/tmp/.systemPrefs が存在することを確認する必要がある点です。JVM をルートとして、ローカル ディスクにインストールすることを推奨します。

- ユーザ設定

ホーム ディレクトリが NFS マウントの場合に、この問題が発生するときは、次の手順に従います。

```
$ rm -rf $HOME/.java
$ mkdir /tmp/.java.$USER
$ ln -s /tmp/.java.$USER $HOME/.java
```

詳細については、次の URL を参照してください。

<http://developer.java.sun.com/developer/bugParade/bugs/4673298.html>

<http://developer.java.sun.com/developer/bugParade/bugs/4635353.html>

その他

Cisco DCNM-SAN の再起動後もマップ レイアウトを保持する方法を教えてください

好みに合わせてマップを編成したあとにマップを「固定」して、Cisco DCNM-SAN を停止して再起動したあとにもオブジェクトが引き続き表示されるように設定する場合は、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** マップ内のブランク領域で右クリックします。メニューが表示されます。
 - ステップ 2** メニューで [Layout] > [Fix All Nodes] を選択します。
-

スイッチは 1 台しかないのにマップには 2 つ表示されます

スイッチが 1 台しかない場合に、マップにスイッチが 2 つ表示される場合は、隣接していない VSAN (仮想 SAN) 内の 2 つのスイッチに同じドメイン ID が設定されている可能性があります。Cisco DCNM-SAN は <vsanId><domainId> を使用してスイッチを検索するため、ファブリック検出時に、これらのスイッチ間にリンクが正しく割り当てられないことがあります。

この問題を回避するには、物理的に接続されたファブリック内の同じ VSAN 内のすべてのスイッチで、一意のドメイン ID が使用されているか確認します。(この作業には、ファブリック コンフィギュレーション チェッカを使用します)。

スイッチ内のレッド/オレンジ/点線の意味を教えてください。

スイッチ内にレッドの線が表示される場合、Fabric Manger はスイッチに関して問題点を検出しています。[Physical Attributes] ペインで [Switches] を選択して、[Information] ペインのステータス レポートを表示します。モジュール、ファン、電源装置に障害があるか、または装着されているにもかかわらずオフライン状態です。

スイッチ内にオレンジの点線が表示される場合は、スイッチに関するマイナー ステータス警告を示しています。通常、モジュールのいずれかに問題が発生しています。問題の原因はツールチップに表示されます。マウスをしばらくスイッチ上に置くと、ツールチップが表示されます。

次の表に、Cisco DCNM-SAN および Device Manager のカラーの設定とツールチップの定義を示します。

表 11-1 Cisco DCNM-SAN クライアントと Device Manager のカラーの定義

Cisco DCNM-SAN のカラー	定義
レッドのフラッシュ	SNMP を通じてスイッチと通信できません。
レッドの X	ファブリック スwitch の Domain Manager/Fabric Configuration Server リスト内のスイッチと通信したり、このスイッチを表示することができません。
Device Manager のカラー	定義
モード (FICON の場合は F、T、TE、UI など) の付いた緑色の正方形	ポートが起動しています。
モードの付いたオレンジの正方形	トランクが不完全です。
オレンジの十字	OLS および NOS が受信されています。
ブラウンの正方形	ポートは管理上のダウン状態です。
ライト グレーの正方形	ポートを管理できません。
レッドの十字	ハードウェア障害/ループバック診断障害/リンク障害です。
レッドの正方形	その他の設定障害です。
正方形なし、またはブラックの正方形	ポートが未設定です。

表 11-2 Device Manager ツールチップの定義

ツールチップ	定義
adminDown	ポートが管理上のダウン状態です。
bitErrRTThresExceeded	ビット エラー レートが高すぎます。
bundleMisCfg	PortChannel メンバーシップで設定エラーが検出されました。
channelAdminDown	このポートは PortChannel のメンバーであり、この PortChannel が管理上のダウン状態です。
channelConfigurationInProgress	このポートは PortChannel の設定中です。
channelOperSuspended	このポートは PortChannel のメンバーであり、動作パラメータは PortChannel パラメータと互換性がありません。

表 11-2 Device Manager ツールチップの定義 (続き)

ツールチップ	定義
deniedDueToPortBinding	ポート バインディングにより中断中です。
domainAddrAssignFailureIsolation	選択された主要スイッチがドメイン アドレス マネージャ機能を実行できないため、Nx_port のトラフィックをスイッチ間で転送できません。したがって、スイッチ内のすべての Interconnect_Ports が隔離されます。
domainInvalidRCFReceived	無効な Reconfigure Fabric (RCF) が受信されました。
domainManagerDisabled	ドメイン マネージャがディセーブルです。
domainMaxReTxFailure	再試行を最大限に行っても、ドメイン マネージャに障害が発生します。
domainOtherSideEportIsolation	ピア E ポートが隔離されています。
domainOverlapIsolation	2 つの既存ファブリックを接続する際に、ドメインが重複しています。
elpFailureClassFParamErr	クラス F パラメータ エラーによる ELP 障害のために隔離されています。
elpFailureClassNParamErr	クラス N パラメータ エラーによる ELP 障害のために隔離されています。
elpFailureInvalidFlowCTLParam	無効なフロー制御パラメータによる ELP 障害のために隔離されています。
elpFailureInvalidPayloadSize	無効なペイロードサイズによる ELP 障害のために隔離されています。
elpFailureInvalidPortName	無効なポート名による ELP 障害のために隔離されています。
elpFailureInvalidSwitchName	無効なスイッチ名による ELP 障害のために隔離されています。
elpFailureInvalidTxBBCredit	無効な B2B クレジットの伝送による ELP 障害のために隔離されています。
elpFailureIsolation	ポート初期化中に、想定される Interconnect_Ports に互換性のないリンク パラメータが見つかりました。
elpFailureLoopbackDetected	検出されたループバックによる ELP 障害のために隔離されています。
elpFailureRatovEdtovMismatch	R_A_TOV または E_D_TOV の不一致による ELP 障害のために隔離されています。
elpFailureRevMismatch	リビジョンの不一致による ELP 障害のために隔離されています。
elpFailureUnknownFlowCTLCode	無効なフロー制御コードによる ELP 障害のために隔離されています。
ePortProhibited	E/TE ポートに FICON 禁止マスクが設定されているために、ポートがダウンしています。
eppFailure	再試行を最大限に行っても、トランク ネゴシエーション プロトコルに障害が発生します。

表 11-2 Device Manager ツールチップの定義 (続き)

ツールチップ	定義
errorDisabled	管理上の対応が必要なエラー条件により、ポートが動作していません。
escFailureIsolation	Exchange Switch Capabilities (ESC) の結果、ポート初期化中に、想定される <code>Interconnect_Ports</code> が初期化を継続できません。
fabricBindingDBMismatch	ファブリック バインディング アクティブ データベースがピアと一致しません。
fabricBindingDomainInvalid	ファブリック バインディング アクティブ データベース内のピア ドメイン ID が無効です。
fabricBindingNoRspFromPeer	ファブリック バインディングがピアからの応答を受信しません。
fabricBindingSWWNNotFound	ファブリック バインディング アクティブ データベース内に、ピアのスイッチ WWN が見つかりません。
fcipPortAdminCfgChange	設定変更により、FCIP ポートがダウンしました。
fcipPortKeepAliveTimerExpire	TCP キープアライブ タイマーの期限切れにより、FCIP ポートがダウンしました。
fcipPortMaxReTx	TCP 再送信回数が設定された制限値に到達したため、FCIP ポートがダウンしました。
fcipPortPersistTimerExpire	TCP 持続タイマーの期限切れにより、FCIP ポートがダウンしました。
fcipPortSrcAdminDown	発信元イーサネット リンクが管理上のシャットダウンになったために、FCIP ポートがダウンしました。
fcipPortSrcLinkDown	イーサネット リンクのダウンにより、FCIP ポートがダウンしました。
fcipSrcModuleNotOnline	発信元モジュールがオンラインでないため、FCIP ポートがダウンしました。
fcipSrcPortRemoved	送信元ポートが削除されたため、FCIP ポートがダウンしました。
fcotChksumErr	FSP SPROM チェックサム エラーが発生しました。
fcotNotPresent	SFP (GBIC) が搭載されていません。
fcotVendorNotSupported	FSP (GBIC) ベンダーがサポートされていません。
fcspAuthenfailure	ファイバ チャネル セキュリティ プロトコル認証に失敗しました。
ficonBeingEnabled	FICON がイネーブル化中です。
ficonNoPortnumber	FICON ポート番号が設定されていません。
ficonNotEnabled	FICON がイネーブル化されていません。
ficonVsanDown	FICON VSAN がダウンしています。

表 11-2 Device Manager ツールチップの定義 (続き)

ツールチップ	定義
firstPortNotUp	加入過多型ラインカードで、グループ内の他のポートが起動している場合に、先頭ポートを E モードで起動することができません。
firstPortUpAsEport	加入過多型ラインカードで、グループ内の先頭ポートが E モードで起動している場合に、このグループ内の他のポートを起動できません。
hwFailure	ハードウェア障害です。
incomAdminRxBBCreditPerBuf	管理ポート rxbbcredit、パフォーマンスバッファに互換性がないために、ディセーブルです。
incompatibleAdminMode	ポート管理モードとポート機能に互換性はありません。
incompatibleAdminRxBBCredit	受信 BB クレジットに互換性はありません。
incompatibleAdminRxBufferSize	受信バッファ サイズに互換性はありません。
incompatibleadminSpeed	ポート速度とポート機能に互換性はありません。
initializing	ポートが初期化中です。
interfaceRemoved	インターフェイスの削除中です。
invalidAttachment	接続が無効です。
invalidConfig	このポートのポートチャンネル設定ミスです。
invalidFabricBindExh	ファブリック バインディング交換が無効です。
linkFailCreditLoss	過剰なクレジット損失が示されたため、リンクに障害が発生しました。
linkFailCreditLossB2B	キューが空でないため、Link Reset (LR) 動作に失敗したときに、リンク障害が発生しました。
linkFailDebounceTimeout	再ネゴシエーションに失敗したために、リンク障害が発生しました。
linkFailLineCardPortShutdown	ポートがシャットダウンしたために、リンク障害が発生しました。
linkFailLinkReset	リンクがリセットされたために、リンク障害が発生しました。
linkFailLIPF8Rcvd	F8 LIP が受信されたために、リンク障害が発生しました。
linkFailLIPRcvdB2B	受信キューが空でないため、Loop Initialization (LIP) 動作に失敗したときに、リンク障害が発生しました。
linkFailLossOfSignal	Loss of Signal (LOS; 信号消失) により、リンク障害が発生しました。
linkFailLossOfSync	同期ずれにより、リンク障害が発生しました。
linkFailLRRcvdB2B	受信キューが空でないため、LR 動作に失敗したときに、リンク障害が発生しました。
linkFailNOSRcvd	動作しないシーケンスが受信されたため、リンクに障害が発生しました。

表 11-2 Device Manager ツールチップの定義 (続き)

ツールチップ	定義
linkFailOLSRcvd	オフライン シーケンスが受信されたために、リンク障害が発生しました。
linkFailOPNyRETB2B	受信キューが空でない場合に、オープンな基本信号が戻されたため、リンク障害が発生しました。
linkFailOPNyTMOB2B	受信キューが空でない場合に、オープンな基本信号がタイムアウトになったため、リンク障害が発生しました。
linkFailPortInitFail	ポートの初期化に失敗したために、リンク障害が発生しました。
linkFailPortUnusable	ポートが使用不能なために、リンク障害が発生しました。
linkFailRxQOverflow	受信キューのオーバーフローにより、リンク障害が発生しました。
linkFailTooManyINTR	ポート中断が過度に発生したために、リンク障害が発生しました。
linkFailure	物理的なリンク障害が発生しました。
loopbackDiagFailure	ループバック診断障害が発生しました。
loopbackIsolation	ポートが同じスイッチ内の別のポートに接続されています。
noCommonVsanIsolation	ピアに対して共通の VSAN が存在しないため、トランクが隔離されています。
none	障害は発生していません。
nonParticipating	ループ初期化中に、ポートがループ動作に参加できません。
offline	物理リンクがオフライン ステート (FC-FS 標準で定義済み) です。
ohmsExtLBTest	外部ループバック診断障害により、リンクが中断しました。
other	原因が定義されていません。
parentDown	このインターフェイスがバインドされている物理ポートがダウンしています。
peerFCIPPortClosedConnection	ピア FCIP ポートによって TCP 接続が閉じられたため、ポートがダウンしました。
peerFCIPPortResetConnection	ピア FCIP ポートによって TCP 接続がリセットされたため、ポートがダウンしました。
portBindFailure	ポート バインド障害が発生したために、ポートが隔離されました。
portBlocked	FICON により、ポートがブロックされました。
portChannelMembersDown	動作中のメンバーがありません。
portFabricBindFailure	ファブリック バインド障害が発生したために、ポートが隔離されました。
portGracefulShutdown	ポートが正常にシャットダウンしました。

表 11-2 Device Manager ツールチップの定義 (続き)

ツールチップ	定義
portVsanMismatchIsolation	異なるポート VSAN を持つ非トランキング ポートを使用して、2 つのスイッチを接続しようとしてしました。
rcfInProgres	隔離された xE_port が、隔離されていない単一ファブリックを構築するために RCF を送信し、中断的再設定を要求しています。隔離できるのは Interconnect_Ports だけです。
srcPortNotBound	このインターフェイスに対して送信元ポートが指定されていません。
suspendedByMode	動作モードに互換性がないために、ポート チャネルに属するポートが中断しています。
suspendedBySpeed	動作速度に互換性がないために、ポート チャネルに属するポートが中断しています。
suspendedByWWN	リモート sWWN に互換性がないために、ポート チャネルに属するポートが中断しています。
swFailure	ソフトウェア障害です。
tooManyInvalidFLOGIs	無効な FLOGI が多すぎるために中断しました。
tovMismatch	TOV の不一致により、リンクが隔離されました。
trunkNotFullyActive	ピアと共通の VSAN の一部が起動していません。
upgradeInProgress	ライン カード アップグレードが進行中です。
vsanInactive	ポート VSAN が非アクティブです。ポート VSAN をアクティブにすると、ポートが再び動作可能になります。
vsanMismatchIsolation	トランク ポートの両側にこの VSAN が設定されていません。
zoneMergeFailureIsolation	2 つの Interconnect_Ports が、ゾーニングのマー ジ要求を交換したあとに、ゾーニング設定をマー ジできません。
zoneRemoteNoRespIsolation	リモート ゾーン サーバが応答していないために、隔離されました。

マップ設定を保持したままアップグレードする方法を教えてください

Cisco DCNM-SAN のバージョンをアップグレードする場合に、マップ設定（ラック名、マップ上の位置など）を保持できます。

MDS 9000/db ディレクトリには、各ユーザのサブフォルダ（1 つは `fmserver` 用）が格納されています。これらのサブフォルダには、検出されたすべてのファブリック（*.dat）およびマップ（*.map）に関するファイルが格納されています。これらはバージョン間でアップグレード可能です。ファブリック キャッシュをクリアする必要がある場合は、まずラックをファイルにエクスポートし、これらが失われないようにします。ラック以外のすべてのもの、およびマップ座標は、スイッチに格納されます。初期設定、前回開いたときの設定、および `site_ouis.txt` フォーマットには、リリースによる違いがありません。

Cisco DCNM-SAN サーバを新規ホストに移行するときに履歴データを保持する方法を教えてください

Cisco DCNM-SAN サーバを新規ホストに移行するときにデータを保持する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** ラックをファイルにエクスポートします。
 - ステップ 2** Cisco DCNM-SAN を再インストールします（新規ホストにインストールする場合は、Cisco DCNM-SAN をインストールします）。
 - ステップ 3** インストールが完了したら、Cisco DCNM-SAN サーバを停止します。
 - ステップ 4** 元のホストから新規ホストに RRD ファイルをコピーします。このファイルをデータベース ディレクトリに格納します（Windows PC では、このディレクトリのデフォルトのインストール場所は C:\Program Files\Cisco Systems\DCM\fm\pm\db です）。
 - ステップ 5** 新規ホストの \$INSTALLDIR\dcm\fm\bin フォルダから **PM.bat sync** を実行します。これにより、ファイルと新規ディレクトリ構造が作成されます。データを収集したスイッチごとに、ディレクトリが存在します。
 - ステップ 6** 特定のスイッチでデータ収集を継続するには、該当スイッチのフォルダ内の db サブフォルダを pm フォルダにコピーします。
 - ステップ 7** Cisco DCNM-SAN サーバを再起動します。
 - ステップ 8** Performance Manager の収集にファブリックを追加します。
 - ステップ 9** ラックの新規ホストを再度インポートします。
 - ステップ 10** 古いホストの元のサービスは必ずオフにします。
-

FCIP 上で Cisco DCNM-SAN を使用するときの制限はありますか

FCIP トンネルが起動しているかぎり、Cisco DCNM-SAN はこのトンネル上で制限なく機能します。ただし、Cisco DCNM-SAN はファブリック内にある Cisco SN5428 の管理 IP アドレスを自動検出できません。このスイッチの場合は、タイムアウト エラーが発生するため、FCIP デバイスにレッドのスラッシュが表示されます。ただし、ネーム サーバまたは FSPF 内にターゲット、発信側、および Cisco SN5428（または他の任意のスイッチ）に接続された ISL（スイッチ間リンク）が表示されているかぎり、このスイッチはこれらをすべて認識します。

この問題を解決するには、[Switches] テーブルに IP アドレスを手動で入力し、[Apply] をクリックします。コミュニティ スtring が正しい場合、レッド スラッシュは消えます。コミュニティ スtring が正しくない場合でも、Cisco SN5428 をダブルクリックすると、Web ツールが起動します。

[Please insure that FM server is running on localhost] メッセージへの対処法を教えてください

このエラー メッセージは、ファブリックに接続できない場合、および PC に複数のネットワーク インターフェイス カードが搭載されている場合に、表示されることがあります。問題として考えられるのは、Cisco DCNM-SAN が不正なインターフェイスを通して通信を試みていることです（このことを確認するには、FMServer.log ファイルを調べます）。

通常は、起動時にインターフェイスを自動的に選択する方法が最適です。上記エラーが表示される場合は、不正な設定が含まれている可能性があります。

Cisco DCNM-SAN をリセットして、次の起動時にインターフェイスを自動的に選択する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Cisco DCNM-SAN インストール ディレクトリにある `server.properties` ファイルを開きます。Windows プラットフォームの場合、このファイルはデフォルトで `C:\Program Files\Cisco Systems\dcm` 内にあります。
- ステップ 2** `snmp.localaddress` 行をコメント化します。
- ステップ 3** ファイルを保存して、終了します。
- ステップ 4** Cisco DCNM-SAN サーバを再起動します。
-



(注)

場合によってはこの方法を使用せずに、Cisco DCNM-SAN が使用するインターフェイスを手動で選択する必要があります。詳細については、「[複数のインターフェイスを使用して Cisco DCNM-SAN を実行する方法を教えてください](#)」(P.11-21) を参照してください。

複数のインターフェイスを使用して Cisco DCNM-SAN を実行する方法を教えてください

ご使用の PC に複数のインターフェイス (NIC) が装備されている場合は、4 つの Cisco DCNM-SAN アプリケーションによってこれらのインターフェイスが自動的に検出されます (ループバック インターフェイスは無視されます)。Cisco DCNM-SAN クライアントおよび Device Manager は、起動するたびに PC 上のすべてのインターフェイスを検出し、ユーザはその中の 1 つを選択できます。Cisco DCNM-SAN サーバおよび Performance Manager は、初回インストール時に検出し、ユーザはその中の 1 つを選択できます。これらの 2 つのアプリケーションでは、インターフェイスの選択を求めるプロンプトは再表示されません。

使用しているインターフェイスを変更しなければならない場合があります。たとえば、次の場合です。

- Cisco DCNM-SAN サーバまたは Performance Manager をインストールしたあとに、インターフェイスを追加する場合
- 最初に選択したインターフェイスと異なるインターフェイスを使用する場合
- 何らかの理由により、いずれかの Cisco DCNM-SAN アプリケーションが複数のインターフェイスを検出しなかった場合

インターフェイスを認識するアプリケーションに応じて、次のセクションを参照してください。

- 「[手動による Cisco DCNM-SAN サーバ用インターフェイスの指定](#)」(P.11-21)
- 「[手動による Cisco DCNM-SAN クライアントまたは Device Manager 用インターフェイスの指定](#)」(P.11-22)

手動による Cisco DCNM-SAN サーバ用インターフェイスの指定

Cisco DCNM-SAN サーバ (Performance Manager および Cisco DCNM-SAN Web Services を含む) にインターフェイスを指定する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** MDS 9000 フォルダに移動します。Windows プラットフォームの場合、このフォルダはデフォルトで C:\Program Files\Cisco Systems\MDS 9000 内にあります。
 - ステップ 2** テキスト エディタを使用して server.properties ファイルを編集します。
 - ステップ 3** snmp.localaddress 行が表示されるまでスクロールします。
 - ステップ 4** この行がコメント化されている場合は、コメント文字を削除します。
 - ステップ 5** 使用する NIC の IP アドレスまたはインターフェイス名にローカル アドレス値を設定します。
 - ステップ 6** ファイルを保存します。
 - ステップ 7** Cisco DCNM-SAN サーバを停止し、再起動します。
-

手動による Cisco DCNM-SAN クライアントまたは Device Manager 用インターフェイスの指定

Cisco DCNM-SAN クライアントまたは Device Manager にインターフェイスを指定する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** MDS 9000/bin フォルダに移動します。Windows プラットフォームの場合、このフォルダはデフォルトで C:\Program Files\Cisco Systems\MDS 9000 内にあります。
 - ステップ 2** DeviceManager.bat ファイルまたは FabricManager.bat ファイルを編集します。
 - ステップ 3** set JVMARGS= で開始する行にスクロールします。
 - ステップ 4** パラメータ -Device Managerds.nmsaddress= ADDRESS を追加します。ADDRESS は使用する NIC の IP アドレスまたはインターフェイス名です。
 - ステップ 5** ファイルを保存し、Cisco DCNM-SAN クライアントまたは Device Manager を再起動します。
-

HTTP プロキシ サーバの設定方法を教えてください

ネットワークでプロキシ サーバを使用して HTTP 要求を処理する場合は、Java Web Start Application Manager にプロキシ サーバの IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。

Java Web Start Application Manager にプロキシ サーバを設定する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Java Web Start アプリケーションを起動します。
 - ステップ 2** Java Web Start Application Manager で [File] > [Preferences] を選択します。
 - ステップ 3** [Manual] オプション ボタンを選択し、[HTTP Proxy] フィールドにプロキシ サーバの IP アドレスを入力します。
 - ステップ 4** [HTTP Port] フィールドに、プロキシ サービスで使用する HTTP ポート番号を入力します。
 - ステップ 5** [OK] をクリックします。
-

トポロジ マップをクリアする方法を教えてください

ファブリックから削除されたスイッチがある場合は、スイッチのアイコンに赤色の X が表示されます。スイッチを再起動しなくても、Cisco DCNM-SAN クライアントまたは Cisco DCNM-SAN サーバからこの情報をクリアすることができます (Cisco DCNM-SAN サーバの場合は、すべてのクライアントの情報がクリアされます)。

Cisco DCNM-SAN を使用してトポロジ マップから情報をクリアする手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** [Fabric] ペインの [Refresh Map] アイコンをクリックします。
クライアントから情報がクリアされます。
- ステップ 2** [Server] メニューの [Purge Down Elements] をクリックします。
サーバから情報がクリアされます。



注意

現在アクセスできないすべてのデバイス (オフラインの可能性ある) が除去されます。

ソフトウェアの混在環境で Cisco DCNM-SAN を使用する方法を教えてください

Cisco DCNM-SAN バージョン 2.0(x) を使用すると、Cisco MDS 9000 スイッチが混在しているファブリックを管理できます。これらの機能をサポートしないソフトウェア バージョンが稼動するスイッチでは、特定の 2.0 機能タブには何も表示されません。

Cisco DCNM-SAN 起動時に「corrupted jar file」エラーが表示されます。対処方法を教えてください

次のエラーが表示される場合：

```
An error occurred while launching the application Cisco DCNM-SAN.

download error:corrupted jar file at <ipaddress>\Device Managerboot.jar
```

(<ipaddress> はスイッチの IP アドレス)

表示されるエラー メッセージは、Java Web Start キャッシュが破損していることを示します。まず、Java Web Start キャッシュをクリアしてください。キャッシュをクリアするには、([Programs] メニューから) Java Web Start を実行し、[preferences] で [clear cache] を選択します。または、すべての Cisco DCNM-SAN または Device Manager インスタンスが閉じていることを確認してから、.javaws/cache を削除して、手動でキャッシュをクリアします。新しい JRE では、このディレクトリは Documents and Settings\USERNAME 内に、古い JRE では Program Files\Java Web Start 内に作成されます。

キャッシュ フォルダ内を参照して、問題となる IPAddress フォルダ (cache/http/D10.0.0.1 など) を削除することもできます。

同様に、ホストでウイルス チェッカ/Java ブロック機能が稼動していないか確認してください。

アンインストール プログラムを実行してから、.cisco_mds ディレクトリを削除することもできます。その後、Cisco DCNM-SAN を再インストールします。

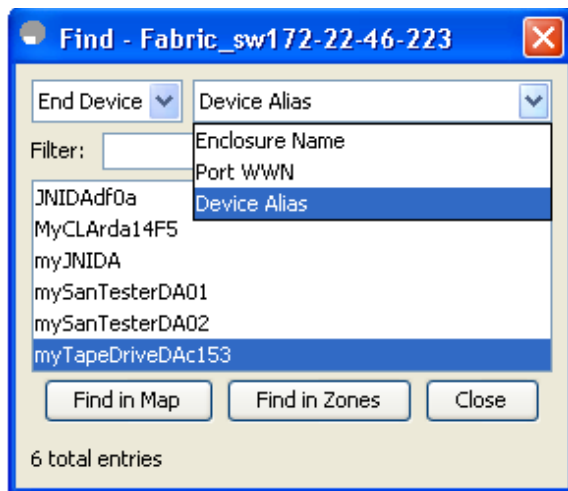
ファブリック内のデバイスの検索方法を教えてください

Cisco DCNM-SAN では、pWWN などの複数の属性を使用して、1 つまたは複数のデバイスを検索できます。

Cisco DCNM-SAN で検索を実行する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** マップを右クリックし、ドロップダウン メニューで [Find Elements] を選択します。
[Find Fabric] ダイアログボックスが表示されます (図 11-1 を参照)。
- ステップ 2** 左側のドロップダウン リストで [End Device] を選択します。
- ステップ 3** 右側のドロップダウン リストで [Port WWN] を選択します。
WWN の一部を入力してワイルドカード (*) を使用することもできます (たとえば、*fb*f8 と入力できます)。

図 11-1 エンド デバイスと Port WWN を選択した状態でファブリック ダイアログボックスを検索



- ステップ 4** [Find in Map] をクリックします。
ゾーン内でデバイスを検索するには、[Find in Zones] をクリックします。[Fabric] ペイン内でデバイスがハイライト表示されます。任意のデバイスを右クリックすると、そのデバイスの属性が表示されます。これらのデバイスに接続されたリンクを選択して、リンクの属性を表示することもできます。

テーブルの検索方法を教えてください

Cisco DCNM-SAN では、1 つ以上の属性が割り当てられたデバイスを検索できます。[Find] ダイアログボックスに検索ストリングを入力し、[Next] および [Previous] ボタンを使用して結果を移動します。

Cisco DCNM-SAN のテーブル内で検索を実行する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** ツールバーの [Find] アイコンをクリックします。
[Find] ダイアログボックスが表示されます。
 - ステップ 2** [Find] テキストボックスに検索ストリングを入力します。
 - ステップ 3** 選択した行内を検索する場合は [Selection] をクリックします。
 - ステップ 4** 大文字と小文字を区別しない場合は [Ignore Case] をオンにします。
 - ステップ 5** 検索ストリングに完全一致するデータ値を検索する場合は [Exact Match] をオンにします。
 - ステップ 6** [Next] をクリックして検索を実行します。
 - ステップ 7** [Cancel] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。
-

複数のファブリックの管理方法を教えてください

複数のファブリックをモニタして管理するには、1 つまたは複数のファブリックを保持する必要があります。このためには、[Server] > [Admin] ダイアログボックスの [Fabric] タブで [Persist] チェックボックスをオンにします。SAN-OS Release 1.3.x 以降が稼動するスイッチを両方のファブリックで使用し、これらで同じユーザ/パスワードを使用する必要もあります。両方のファブリックを物理的に接続しないでください。

ライセンス期限が切れるとスイッチに表示されるオレンジの X をクリアする方法を教えてください

ライセンス付き機能を使用している場合に、ライセンス期限が切れると、Cisco DCNM-SAN はライセンス違反であることを示し、Cisco DCNM-SAN マップ上のスイッチにオレンジの X を付加します。

ライセンス違反メッセージおよびオレンジの X をクリアするには、ホスト上で Cisco DCNM-SAN サービスを停止し、再起動します。

